

## 那珂川市文化芸術推進計画 ワークショップ企画案

### 【検討の方向性】

検討の方向性	考え方	結果
①ワークショップを通じた市民の文化芸術鑑賞・活動の実態や市民ニーズの把握	市民意識調査や関係団体ヒアリング調査で実態やニーズを把握済み	×
②ワークショップを通じた文化芸術推進計画に盛り込む施策・事業アイデアの募集	本計画では、既に文化芸術活動に取り組んでいる市民・団体の支援だけでなく、これまで文化芸術と関わりが少ない市民へのアプローチを検討する必要がある	△
③ワークショップを通じたプレ事業の実施（計画に盛り込みたい施策・事業の試行）		○

⇒ 検討の方向性③を基本に、ワークショップ企画案を検討

### タイトル：(仮称) ミリカローデンで遊ぼう！

#### 1. 目的

- ・アンケート調査結果等を通じて、これまで文化芸術に触れる機会がなかった人が文化芸術に触れてもらうことが重要であることが明らかになっている。
- ・今後、今回策定する計画に基づき、文化芸術に触れる機会がなかった人を対象とした事業の実施に向けた「プレ事業」として、ワークショップを開催する。
- ・あわせて、ミリカローデン那珂川で開催することで、ミリカローデン那珂川をより多くの人に知ってもらう。

#### 2. 対象

中学生以下の子どもと保護者

#### 3. 開催日時・場所

- ・令和5年7月から8月、土曜日、日曜日、祭日のいずれか1日、午前の時間帯（9：30～12：00）若しくは午後の時間帯（13：30～16：30）
- ・場所はミリカローデン那珂川の屋内・屋外

## 4. 内容

- ・子どものアンケート調査で「興味がある」との回答が多い分野（美術、音楽、メディア芸術、ダンスなど）の中から、できれば1～2のプログラムを用意（講師謝金等との相談）
- ・那珂川市内・市外を問わず活躍されているアーティストに協力を依頼
- ・いずれも「アートを楽しむ」「アートで遊ぶ」ではなく、「遊びのツールがたまたま“アート”」であり、遊びながらアートの面白さに気がついてもらう内容としたい。

【講師例】 ※あくまでイメージであり、調整等はしていません。

分野	講師名 ／プロフィール	ワークショップ内容案	イメージ
美術	画家 大庭豊氏(ミリカサークル「ジュニア絵画」指導者) ／画家としてフランスで活躍。現在市内では幼稚園から小学校6年生まで指導	インスタレーション (実施済) ミリカの庭に子供さん達みんなが、蜘蛛になった気持ちで、庭の木、ランプ、標識などに500Mの色テープを巻き付け、自分達の空間を現出させる。	
音楽	Vegetable Record (林翔太郎氏、三上僚太氏) ／「音楽の新しい楽しみ方・価値観を創る」をコンセプトに掲げた、音楽レーベル・音楽ユニット	音あつめワークショップ 施設を「大きな楽器」と捉えて、施設内を自由に探検しながら、自分が思う「お気に入りの音」「変な音」をスマートフォンのボイスメモで録音。その後、紙にイラストや文字で音を表現。ワークショップで集められた12種類の音を使って音楽を制作する。	
メディア芸術	ビデオグラファー/ フォトグラファー 大西 ひろし氏	動くおえかきワークショップ 子どもたちの描いた絵をベースにオリジナルストーリーのショートムービーを作るアートイベント。	
ダンス	ダンスアーティスト・振付作家 田村興一郎氏 ／京都での創作活動を経て、現在は横浜を拠点に活動中。	誰でも振付家になれるワークショップ「身体美術館」 身近にある”モノ”と身体を使ってオリジナル美術館をつくる。 気付いたらみんな「振付家」になっている。	

## 5. その他

- ・定員制（事前申込＋当日先着順）、参加費については要検討
- ・参加者にアンケートを実施
  - （設問案）情報の入手方法
    - これまでの芸術文化イベントの参加状況
    - 今回の満足度
    - 今後の芸術文化イベントの参加意向
    - どのような形で参加したいか
    - 属性（年齢、性別、学年）

## 6. 今後のスケジュール

- ・第4回審議会（本日）にて、企画案を提示
- ・第5回審議会（令和5年5月頃開催）にて、詳細の承認
- ・広報7月号（6月末発行）にて周知
- ・7～8月にワークショップ実施

	3月	4月	5月	6月	7月～8月
企画検討	第4回 審議会 ★ 企画案の承認	← 講師調整 →	第5回 審議会 ★ 企画詳細の承認		
広報			★ 原稿の入稿	★ 広報なかがわ7月号 （6月末発行）で周知	
準備・当日				← 準備 申込受付 →	★ 本番